

東北住電精密 株式会社 様

会社概要

事業内容 切削工具（超硬ドリルおよびカッター等の鋼工具）製造
所在地 田村郡三春町深作10番地1

【会社の特徴】

住友電気工業(株)のグループ企業として、平成28年に設立。「安全はすべてに優先する」「会社作りは人作りから」を基本に、安全第一・人と共に発展する会社を目指し、高効率生産ラインと最新加工技術による高精度で高品質な製品作りに努めている。
「障害特性は個性であり、能力である」という認識のもと、障害者の就業を支援する各種機関と連携し、社内での障害に対する理解周知を進めたほか、仕事の切り出し、職場見学、職場実習など、障害者雇用に対する丁寧な取り組みが実を結び、雇用した障害者は現在も就労中、正社員化も果たした。

当社の障害者支援の主な取組

- 障害者雇用のための体制作り
 - ・ 社長自ら、障害者雇用の方針を全社員に向けて発信している。また、実習受入・就労先部門の社員に対して、障害特性についての説明を行うなど、相互に理解を深め、働きやすい環境づくりに努めている。
- 障害者支援
 - ・ 障害者の配属先に支援担当者を配置し、日々の就労や業務の指導・サポートのほか、生活面での相談、質問等について、気兼ねなく話ができる環境を整えている。
 - ・ 職場実習を通じ、業務内容や企業の雰囲気が合っているか等、企業と障害者双方がマッチング状況を見極めるための期間をしっかりと設けている。
 - ・ 障害特性や性格、得意・不得意分野を踏まえて、従事業務を選定。またハローワークや支援機関等と連携しながら、就労後の定着支援も実施。障害者の雇入後1年経過時点の定着率は100%となっている。
- 障害者のステップアップ
 - ・ 丁寧な職場定着支援により、課題や悩み・成長度合いを共有し、指導や改善に活かし、やる気に繋げることで、作業能率が向上。雇用する障害者のうち1名が、契約社員から正社員への転換を果たした。
 - ・ 障害特性を踏まえた個々の活躍の場を提供することで、能力を発揮し評価する土壌が整っており、現在障害者として雇用されている社員の平均賃金は、県の最低賃金より2割以上高くなっている。



代表取締役社長 米岡 弘滋 様



(左から)井口所長、米岡社長